



第25号
平成29年10月12日
発行
熊本市北区高平
2-20-35
曹洞宗 浄国寺
編集者
中山 義紹

浄国寺企画 いま心にZEN 開催案内

浄国寺恒例企画
いま、心にZEN
平成二十九年十一月十一日(土)
午前五時 講演会
テーマ 「いす坐禅」
午後七時 「お寺でジャズ」
ジャズ 鈴木 良雄&Bass Talk

今年もやります

何度も書いてきた事です。高校生の頃「お寺に仏教は、葬儀や法事等亡くなった方に何かして上げるところだろうか？」と言う事にいつも疑問を感じていました。「それは、それとして大切な事

だろう。でも、俺がしたい事ではない」と言うのが結論でした。師匠である父親が、必死になって寺の再興に尽力をしていてるのは見てました。しかし、生意気盛りの私は「それはそれ、俺は俺」と別の道に進もうとしていました。ただ、仏教、

その後、禅ブームはありましたが、代「心の時」と言われる割には、そ



お釈迦様の足跡や説いた内容は、学ぶにつれて自分に沁み入ってきたように思えます。自分の中では色々な葛藤がありました。結局は、僧侶になり仏の教えを伝える立場になりました。
今、心に禅
このタイトルは、まだ私が二十代の頃、熊本曹洞宗青年会の僧侶が始めた企画の名前でした。電話相談で有名になった無着成恭老師、漫才師でありながら仏教の信仰が厚かった獅子てんや氏等の講演会、墨跡展、禅の写真展など壇信徒以外の一般の方へアピールする企画として開催してきました。

グローバリズムとナショナリズム

後のバブルに浮かれ、空白の十年を経て、人々の心は、「心の問題」「生活の問題」に追われるようになってきました。モラル・ハザードは進み、何を抛り所に生きるのか、いよいよ娑婆が娑婆(苦しみ)に耐える忍土)と化してきました。

今、これらの言葉で分類表現されているものは、決して本来の意味ではないと思っています。そして、看板こそ逆に見えるが、どちらもエゴイズムが基になっっているように見えます。
グローバリズム「国際協調主義、世界の垣根を取り払って世界共通の価値観を持つ」とう。
ナショナリズム「民族至上主義、自分の国の利益と興隆が第一。まずは自分の国をしつかりしよう」。
大雑把に言う以上、額面通りでも、それぞれに一長一短あるし、何を支

持するかは個人の問題でしょう。しかし、主義主張の体裁を借りて集団が形成される過程に於いて、思想主張ではなく、いつの間にか何が自分に得かの実利が重要な課題になってグルーピングが行われているようです。バブル以降顕著になりましたが、それぞれが「自分にとってどうすれば得になるか」の損得勘定を上手くできる人が「賢い人」しかも、最低限の努力と出力で最大限の利益を得る事が「賢い行い」とされるようになってきた気がします。しかし、他者の事を考えない行為に於いては、グローバリズムもナショナリズムも成立しませんが、自分の利だけを優先するうちに他者の不利を求める事になるからです。これを一言で言えばエゴイズムとなるでしょう。いづから、我々は、そんな淋しい、そしてさもない人間になったのでしょうか。教育の世界でも、こども達は、自ら勉強努力して上に行くより、相对比较の上に行くために「他の子どもの邪魔をして成績を下げる」行為を当然

のようにする子どもが増え
てきたと聞きます。幼児教
育の世界では、今 非認知
スキルの重要性が説かれる
ようになりました。習得度
を数値や外形で計測できる
技術より、乳幼児期に於い
ては、人の気持ちの理解で
きる事、頑張る時は我慢し
ても踏ん張る事、好奇心を
持つて遊びに臨める事など
の「人としての基本的なス
キルをまず習得させるべき
だ」という考え方です。子
どもの姿は親の日常を映す
鏡です。まずは大人が襟を
正したいところです。道元
禅師の正法眼蔵を在家用に
抜粋した経典である修証義
第四章に好きな説があり
ます。「愚人謂くは、利他
を先とせば自らが利省かれ
ぬべしと。然かには、非ざ
るなり。利行は一法なり」。

「目先の利益にとらわれる
な。他者のために出来る事
をきちんとやる事が自分の
利益になるん
ですよ」。園
児に言います。
「お友達と一
緒に遊んで、
お友達が嬉し
いと僕も嬉し
いでしょ。だ



からお互いに嬉しくなるよ
うに仲良く遊ぼうね」幼稚
園児は、喧嘩はしても、利
害関係は計算しません。大
人も子どもに学びたいもの
です

二昧(サマーデイ)

「さんまい」とは古代イ
ンド語サマーデイの音訳で
通常「禅定」と訳されます。
坐禅によって心静かな境地
に至る事です。しかし、な
かなか三昧の境地には行き
着けません。我々の頭の中
は、先読みと怒りと損得勘
定で常にグチャグチャの状
態です。その混沌の中で、
自分が何に悩んでいるのか
さえ分からなくなってしまう
ています。自分の頭で作っ
てしまった縄で自縄自縛に
なり、頭だけでなく体調ま
で崩す事さえあります。自
分を苦しめているのは自分
で作った縄だと気づき、た
まにはフルスロットル状態
の脳みそのスイッチを止め
てみませんか？まずは、静
かな場所（お寺は、その為
の場所でもあります）で、
姿勢を調
えて、骨
盤を立て
て背骨を
伸ばし、



口からお腹いっぱい息を
吸って、次にその息を全部
吐ききります。今度は鼻か
ら静かにゆっくりと息を吸
い落ち着いて吐きます。無
理なく自然な呼吸に努めて
下さい。無心や無我になろ
うなんて考えてはいけませ
ん。その事自体が、既に計
算尽くです。頭の中には、
次から次に嫌になる位、考
えや思いが湧き上がってき
ます。そう言うものなので
す。その事に、まず気づい
て下さい。そして今ここに
呼吸をしている自分がいる
事に気づいて下さい。この
事が、色んな因と縁があつ
てこの世界に生きている自
分の存在に気づく事ができ
れば儲けものです。しばら
くその状態を続けた後に、
ホッとした気持ちになれば、
それで良いと思えるように
なれる筈です。マインドフ
ルネスとは「気づき」と訳
されます。自分の命の尊さ
とそれを戴いている有り難
さを気づき感じ取る事がで
きれば、それだけで何かが
変わると思います。今回の
企画がその一助になれば有
難いところです。音楽会は
協力をお願いしますが、
この部分は無料です。宜し
ければ足をお運び下さい。

お寺でジャズ？

近頃、居酒屋だけでなく、
ラーメン屋さんでもBGM
にジャズが流されるように
なりました。ジャズは難し
い音楽に思われていた時代
もありましたが、本来は芸術
ではなく皆が楽しめるもの
である事が浸透したようで
す。毎年、演奏してくれる
鈴木良雄氏（b担当）は、
世界のナベサダこと渡辺貞
夫のグループでデビュー、
本場アメリカで著名プレイ
ヤーとの活動を経て、帰国。
彼の音楽は、日本人の琴線
に触れる暖かい優しい演奏
です。私が大学のジャズ研
でベースを弾くようになって
たのも鈴木氏のアルバムが
きっかけでした。その人の
演奏を自分が住職を勤める
寺で聴けるのも有難い事
です。今回のメ



ンバーも日本
の有数の演奏
家ばかり。技
術はものすご
いの、決し
て押しつけが
ましくなくベテランの味で、

演奏してくれれます。ジャズ
にアレルギーがある人もい
るかも知れませんが、是非、
騙されたと思って聴きに來
て下さい。素敵な一時にな
るはずですよ。

娑婆は娑婆

坊主は政治に関わらないと言
う鉄則を言う気にならない程、
娑婆（忍土）の政治の劣化には
歯止めが掛からないようだ。国
の舵取りをする人ほど利他（他
者を利する事）を優先に考える
べきなのに、自己保身が最優先
課題になっていく様に見える。
議員はバッジがなくなればただ
の人だ。そうなれば、利他も出
来ないと言う理屈が聞こえるが、
特定の他者の利のみに走る事は
利他とは言わぬ。声の大きな人
の声しか聞こえないようなら、
選良とは呼べぬ。「言ったもん
勝ち、やったもん勝ち」が処世
の常道として定着すれば、誰も
精進しなくなる。近頃は「弱者」
の鎧をつけて自分に都合の良い
「特権」を得ようとする高等戦
術まで見えてくる。「みんなの
為に良かれ」と黙々と努力する
人が報われてこそ、娑婆即涅槃
の教えが生きてくる。今の世の
本当の弱者は誰？

定例木曜坐禅会

毎週木曜日 午後八時より 当山本堂にて
一炷(約四十分) 坐禅をして、坐禅に関する著述の解説(約
二十分) 会費・会則一切なし、初めてのの方はご連絡下さい